



# 地球の楽好

# 地球の楽好の概要

- 子どもたちの健全育成と子育て支援を目的として、活動を行います。

## 1 海外の文化・日本の文化を知り、その双方の良さを吸収できる子どもたちの育成

先人たちが培ってきた日本を知り、そして海外の文化を吸収し生かしてきた先人のことを知るきっかけづくりと教育を行います。

## 2 子どもたちの「生きる力」「憧れる力」「感じる力」を育む

年齢を重ねることにより、さまざまな理由から薄れゆく、3つの力をサポートし、生まれてきた時から持っていた力がより発揮できるよう、また新たな力が育まれるよう子どもたちのきっかけづくりを行います。

## 3 子どもたちが自分を知る

便利な社会になっていくほど、自分のカラダのことなどを知る機会はなくなっていきます。ココロのこと・カラダのことなどを知るためのアクティビティの提供を行います。

## 4 子育て中の保護者に対する様々な角度からの支援

子どもを育てる大人たちが、より自分らしい子育てや生き方ができるよう、また、大人たちが子どもたちと一緒にいる場所をより好きになってもらえるよう、情報や知識・知恵の提供、交流の場の提供などを行います。



## 地球の楽好の成り立ち

- 1985年、仙台市の母親たちが中心になり「AMC(アクティブ・マザーズ・コーポレーション)」を設立。子連れで出かけられる施設や講座などを掲載した「子連れママの気晴らしマップ」創刊号を発行。

日本で最初に作られた地域密着型の子育て情報誌となりました。

以来1998年まで毎年1冊ずつ、その後は別冊を含め年2回発行し、今年で26年目を迎えます。

2004年には、子どもたちを取り巻く社会を考えた際に、母親の視点だけではなく、男性(父親)の視点も必要であると考え、スタッフの大幅改革を実施。同時に、子育て支援だけでなく、子どもたち自身に「自分の生きている場所を愛すること、日本文化を伝承すること」などを直接伝えることの大切さも認識し、子どもたちの健全育成を目的とするNPO法人「地球の楽好」を立ち上げました。

2012年「地球の楽好」の活動は、現在では、全国各地に広がり、2012年4月には一般社団法人「地球の楽好」を立ち上げ、宮城県を拠点とし、東北地方以外にも、東京、埼玉、神奈川、札幌、神戸、大阪、広島、静岡、沖縄で、同じ目的を持ったメンバーがそれぞれの地域で活躍しています。



# コミュニティメディア 必要な情報を必要としているコミュニティが創り伝える



# コミュニティメディアの今後

市民団体として子育てと子どもの健全育成活動開始・情報誌作成

地球の楽好として子どもの健全育成活動・幼稚園、保育園へ全配布の冊子

地域密着こだわりを持ち続けるために地域情報誌の制作サポート

小学生への情報不足から小学校への全配布冊子の作成・東京大田区にて

地域と地域、団体と団体を繋ぐ、緊急時のサポート・登録制のSMSを活用した連絡網メディアのスタート

# 伝統工芸ワークショップ



# カフェの運営 食を通じて感じる



# 震災後の活動

## 1.避難所への食糧提供.....3月14日

多賀城東小学校、東豊中学校へパン、おはぎなど、約2000食を届ける。

## 2.在宅避難者向け食糧頒布.....3月20日~22日

多賀城市民活動サポートセンター前にて、自宅避難の方々に向けて野菜、卵などの生鮮食料及びレトルト食品を頒布。

## 3.絵本プロジェクト...3月末~現在もえほんバス運行中

1)全国から送ってもらった絵本を個人宅・避難所・集会所・保育所・幼稚園などに直接持参し、被災された方々と会話しながら手渡し配布。

2)文具・おもちゃなどを配布。

3)文部科学省ポータルサイトと連携し、支援要請のあった小・中・高校へ物資支援。

4)絵本ひろば

川崎町から廃園となった幼稚園の提供を受け、絵本ひろばを開催。

## 5.遊びのひろばと学びのひろば.....4月・5月

七ヶ浜町の中央公民館前広場にて、遊びと学習支援

## 6.被災者学習支援.....6月~8月

七ヶ浜町仮設住宅の中学生に向けて、週一回地球の楽好本部で勉強会実施(早稲田大学大学院協力)

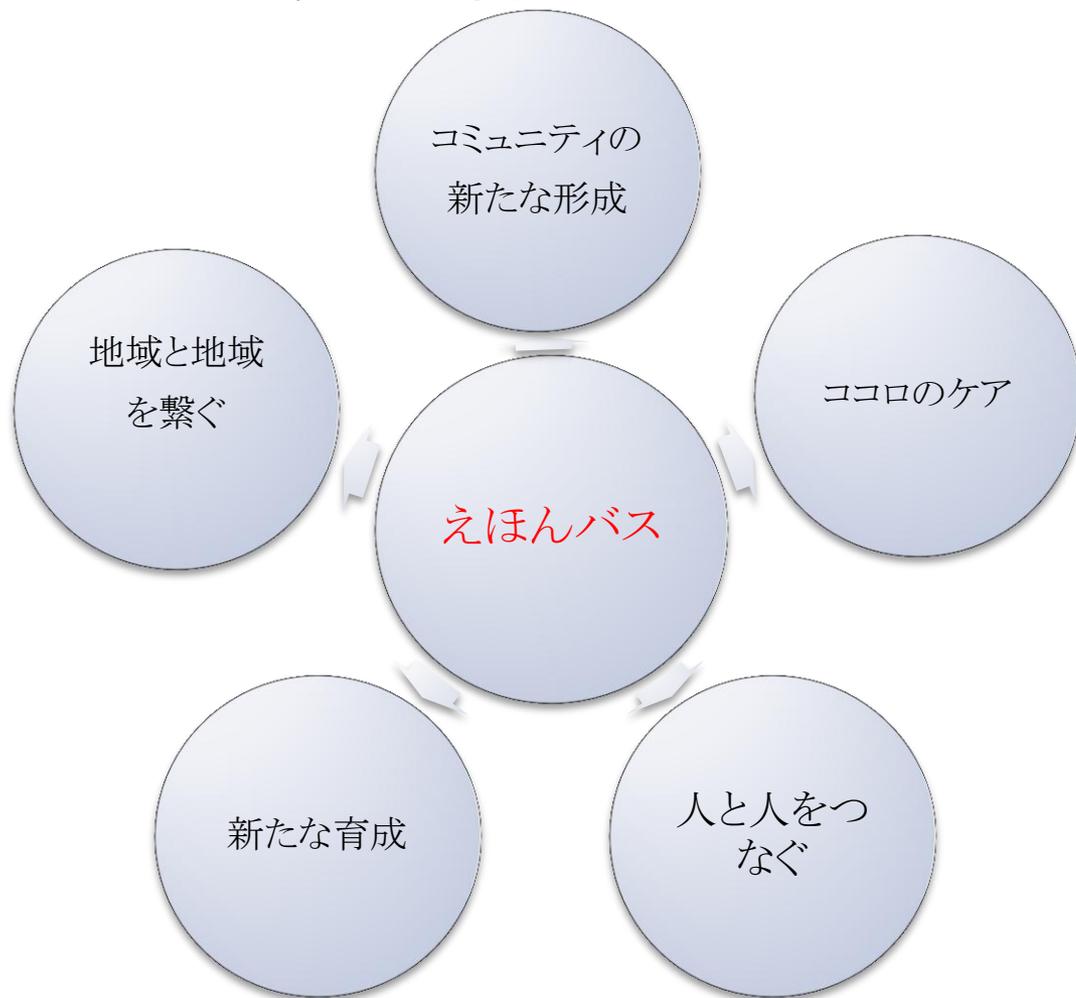
7.情報提供.....保護者・児童・生徒のPTSD対策として、子育て情報誌Hug-Magや幼稚園・保育所向け情報誌「地球の楽好」を制作、配布。

## 8.えほんバス.....10月~現在も宮城、福島を中心に訪問中

二台のバスを購入し、全国から届いた絵本や児童書を保育所、幼稚園、仮設住宅などにいる子どもたち一人一人に届ける。



# えほんバスの運行 川崎町でのえほん広場の運営





## 森がつなぐ

えほんバスが人々をつなぐように、  
森が人々をつなぐ場所である。

子どもたちのにとってココロを  
育む場所としての必要性を実感。







EHON BUS PROJECT  
**えほんバス**  
CHIKYUU NO GAKKOU

supported by



**CREDIT SUISSE**





